

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

サンポート高松トライアスロン大会開催事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

高松市

3 地域再生計画の区域

高松市の全域

4 地域再生計画の目標

サンポート高松トライアスロンは、2010年に第1回目の大会を開催し、2016年で第7回を数える。当初スプリントトライアスロン（25.75 km）として実施された大会も、2013年大会からオリンピックディスタンス（51.5 km）にコースをステップアップし、多島美を誇る風光明媚な瀬戸内海と、本市の顔であるサンポート高松、目抜き通りである中央通りを舞台とした国内有数の『まちなかトライアスロン』として認知されている。（2016年大会申込み選手数636名、来場者数14,800名）

本事業は、現在開催しているサンポート高松トライアスロン大会（一般参加）と合わせて、平成29年度から世界トップアスリートだけが参加するアジアカップを開催するものであり、トップレベルのスポーツを間近に観戦する機会を提供し、さらなる市民のスポーツに対する関心や興味を高め、スポーツに参加（する・見る・支える）する動機付けに繋げ、スポーツの振興を図るほか、多くの外国人選手、外国人観光客を受け入れるとともに、2020年の東京オリンピックに向けた事前合宿の誘致等につなげるものであり、交流人口の拡大を図り、創造性豊かで人間中心のまちを創ることにより、人口減少を抑制することを目的とする。

【数値目標】

事業	サンポート高松トライアスロン大会開催事業		年月
K P I	サンポート高松 トライアスロン来場者数（人）	社会体育施設利用者数（人）	
申請時	14,800	1,935,838	H29.1
初年度	30,000	2,154,000	H30.3
2年目	30,000	2,372,000	H31.3
3年目	30,000	2,591,000	H32.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2（3）に記載

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

（1）事業名：サンポート高松トライアスロン大会開催事業

（2）事業区分：観光業の振興

（3）事業の目的・内容

（目的）

サンポート高松トライアスロンは、2010年に第1回目の大会を開催し、2016年で第7回を数える。当初スプリントトライアスロン（25.75 km）として実施された大会も、2013年大会からオリンピックディスタンス（51.5 km）にコースをステップアップし、多島美を誇る風光明媚な瀬戸内海と、本市の顔であるサンポート高松、目抜き通りである中央通りを舞台とした国内有数の『まちなかトライアスロン』として認知されてい

る。(2016年大会申込み選手数 636名、来場者数 14,800名)

本事業は、現在開催しているサンポート高松トライアスロン大会（一般参加）と合わせて、平成29年度から世界トップアスリートだけが参加するアジアカップを開催するものであり、トップレベルのスポーツを間近に観戦する機会を提供し、さらなる市民のスポーツに対する関心や興味を高め、スポーツに参加（する・見る・支える）する動機付けに繋げ、スポーツの振興を図るほか、多くの外国人選手、外国人観光客を受け入れるとともに、2020年の東京オリンピックに向けた事前合宿の誘致等につなげるものであり、交流人口の拡大を図り、創造性豊かで人間中心のまちを創ることにより、人口減少を抑制することを目的とする。

(事業の内容)

サンポート高松トライアスロン大会（一般参加）及び

サンポート高松トライアスロンアジアカップ大会（エリート）

開催時期 7月

会場 サンポート高松及び中心市街地周回コース

主催 サンポート高松トライアスロン大会実行委員会

構成団体 （公社）日本トライアスロン連合

香川県トライアスロン協会

（一社）高松市トライアスロン協会

共催 高松市

※サンポート高松トライアスロン大会実行委員会に補助金（30,000千円）を交付するほか、道路使用許可申請や近隣地域との調整などの合意形成に係る部分に加え、ボランティアスタッフの確保についても関係機関との協議において支

援を行う。

実施種目 エリート（8日）、エイジグループ（9日）

競技コース エリート スプリントディスタンス

スイム 0.75 km、バイク 20 km、ラン 5 km

エイジ オリピックディスタンス

スイム 1.5 km、バイク 40 km、ラン 10 km

※各年度の事業の内容

初年度）サンポート高松トライアスロン大会（一般参加）及びサンポート高松トライアスロンアジアカップ大会（エリート）
開催

2年目）サンポート高松トライアスロン大会（一般参加）及びサンポート高松トライアスロンアジアカップ大会（エリート）
開催

3年目）サンポート高松トライアスロン大会（一般参加）及びサンポート高松トライアスロンアジアカップ大会（エリート）
開催

（4）地方版総合戦略における位置付け

たかまつ創生総合戦略においては、一人でも多くの市民が、スポーツへの関心や意欲を実践に結び付けられるよう、各種イベントの開催内容や周知方法の継続的な改善に取り組むとしているほか、本市における付加価値を高め、観光やM I C Eの振興による交流人口の拡大を図ることとしており、「サンポート高松トライアスロン大会開催事業」は、この趣旨に沿って、事業の拡充を行うものである。また、総合戦略の基本目標の一つに本市の主な観光施設等利用者数（27年度 6,509千人→31年度

6,570千人)を定めており、本事業はこの目標達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関連する客観的な指標 (重要業績評価指標KPI)

事業	サンポート高松トライアスロン大会開催事業		年月
KPI	サンポート高松 トライアスロン来場者数(人)	社会体育施設利用者数(人)	
申請時	14,800	1,935,838	H29.1
初年度	30,000	2,154,000	H30.3
2年目	30,000	2,372,000	H31.3
3年目	30,000	2,591,000	H32.3

(6) 事業費

単位：千円

年度	H29	H30	H31	合計
負担金、補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	90,000

(7) 申請時点での寄附の見込み

年度	H29
法人名	(株)石垣
見込み額(千円)	1,000

(8) 事業の評価方法

(評価の手法)

事業のKPIである社会体育施設利用者数について、実績値を公表する。また、「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」(高松大学、高松商工会議所、四国経済産業局、百十四銀行、日本労働組合総連合会香川県連合会、四国新聞社等の外部有識者で構成)において、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度9月までに「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」において、効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する予定。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに高松市ホームページで公表する。

(9) 事業期間

平成29年4月から平成32年3月まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 市民スポーツフェスティバル開催事業

事業概要：本市の中核的スポーツ団体で構成する実行委員会により、小学校区対抗競技12種目、市内6ブロック対抗の水泳競技大会、トリムの祭典を実施する。

実施主体：高松市

事業期間：平成29年度～

(2) 市民スポーツ活動推進事業

事業概要：生涯スポーツを振興するため、地区体育協会や高松市体力つくり市民会議等と連携しながら、各種事業を実施し、市民の競技力の向上に取り組む。また、スポーツ少年団の認定員養成講習会を支援するほか、スポーツ推進委員を通じてスポーツに関する指導・助言やスポーツ行事の企画運営等を行う。

実施主体：高松市

事業期間：平成 29 年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

事業の K P I である社会体育施設利用者数について、実績値を公表する。
また、「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」において、事業の結果を検証し、
改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度 9 月までに「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」において、効果
検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する予定。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに高松市ホームページで公表
する。